

宇治市

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

ICT未来っこ育み事業

事業の経過・背景・課題

1人1台端末整備後、市教委研修やICT支援員配置等で教職員のICT機器の操作技術は向上している。このため、次のステップとしてICTを効果的に活用して学びを深める授業改善に取り組み、新しい価値を創造できる子どもの育成のために、教員のICT活用指導力向上を図る必要がある。

取組内容

交付実績額： 8,547 千円

- ・教職員にICT利活用に関する意識調査を実施し、個人ごとに結果を可視化。
その結果をもとに、スキルに応じて京都府総合教育センターの学校DX研修受講（悉皆）し、授業や校務で活用した。
- ・意識調査は経年で結果を可視化できるようにし、研修受講に活かしていく。
- ・ICT活用に対する教職員の意識改革を図るため、文科省より講師を招き、ICT活用を含め今日の学校教育に求められる教育実践について講演会を教員全員を対象として実施した。
- ・日常的な教職員への支援として、引き続き、ICT授業アドバイザーが
月2回各学校を訪問し、授業での効果的な活用の推進と、伴走支援
による活用の底上げを図った。

【活用事例】

- （授業前）教員とI C T授業アドバイザーが授業計画を確認し、
I C Tの使いどころを確認
- （授業中）操作支援
- （授業後）授業の振り返りと授業を通じた支援



事業の成果・今後の展望等

令和6年度全国学力・学習状況調査における学校質問調査では、授業でのICT活用頻度は上昇し、全校で週3回以上授業で活用しているなど、ICT活用は日常的になってきた。また、児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面でのICT活用が令和5年度と比較して上昇し、全国平均を上回るなど、ICT活用の質の向上を図ることができた。

I C Tの強みを生かした学習活動は充実している一方で、子どもたちが考えをまとめ・表現する場面でのI C T活用には課題があるため、I C Tをより効果的に活用するための授業支援に加え、研修や研究の充実も図りながら教科の学びを深める授業改善に取り組み、子どもたちの学びを個別に最適化し、創造性を育む学びへの変革を目指す。

問い合わせ先

宇治市教育委員会学校教育課（0774-21-1879）